

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書

佐賀県立有田工業高等学校 セラミック科展 Saga Prefectural Arita Technical Senior High School Exhibition of Ceramic Department

(佐賀県立有田工業高等学校) 澤山 大亮
(Saga Prefectural Arita Technical Senior High School) Sawayama, Daisuke

実施日	2019年8月17日、18日	Date	August 17&18, 2019
実施場所	博多阪急(7階イベントホール「ミューズ」)	Place	Hakata Hankyu (7F Event Hall "Muse")
住所	福岡県福岡市博多区	Address	Hakata-Ku, Fukuoka City, Fukuoka Pref
主催	株式会社 阪急阪神百貨店 博多阪急 佐賀県立有田工業高等学校	Organizer	Co., LTD Hankyu Hanshin Department Store, Hakata Hankyu Saga Prefectural Arita Technical Senior High School

2019年8月17日(土)、8月18日(日)の2日間、「佐賀県立有田工業高等学校セラミック科展」を博多阪急7階イベントホール「ミューズ」で開催した。主催は博多阪急と本校である。また、公益社団法人日本セラミックス協会教育委員会から協力をいただいた。

本展を福岡で開催した目的は、九州唯一のセラミック科の活動内容を、隣県で交流人口も多い福岡の地でも広く知っていただくことである。

博多阪急でのセラミック科展は、一昨年、昨年に引き続き3回目の開催となった。内容は作品展示と体験コーナーが主であった。展示関係では、授業で制作した陶磁器作品約111点(全日制生徒作品66点・定時制生徒作品20点、聴講生作品25点)、展示パネル(セラミック科紹介2枚、セラミック科の特徴的な取組の紹介2枚、聴講生紹介1枚、ファインセラミックス関係課題研究の紹介(「人工ルビーの制作」2枚、「廃棄磁器を原料としたリサイクル磁器の試作」2枚、「蓄光釉の研究」1枚)を展示した。また、セラミック科の概要がわかる動画も作品展示会場内の50インチモニターで放映した。体験コーナーでは、ろくろ体験と下絵付け体験を実施した。

絵付け体験(湯呑への絵付け)の数は、1日目45個、2日目57個の計102個であった。ろくろ体験をされた方が2日間で約60名であった。展覧会全体での来場者数は、2日間で約280名であった。今年度の体験者は、絵付け、ろくろともに親子連れや、大人の体験者も数多く見られた。絵付け体験では自由な発想で絵付けをされ、色とりどりの湯呑が完成していた。昨年に引き続き今年も博多阪急で絵付け体験をされた方もいらっした。絵付けをする際の楽しそうな表情が印象的であった。ろくろ体験では、磁器土の滑らかな感触を感じながら、手の中で自由に形が変わっていく「ろくろの楽しさ」を感じられている様子であった。なお、絵付けをした湯呑については、学校に持ち帰り本焼成をし、後日博多阪急で体験者への受け渡しを行った。

今回の展覧会では、1日目の17日(土)に西日本新聞社から取材いただき、18日(日)の朝刊に掲載された。また、2日目の18日(日)に福岡のテレビ局であるRKB放送局から取材いただき、同日13:55より放送された。

本展を開催したことで、佐賀県内に限らず、広く九州の方々に有田工業高等学校セラミック科の教育活動と、やきものづくりの楽しさ、また、「セラミックスとは何か」について広く知っていただく機会となった。今後もこのようなセラミックに関心を持っていただくための校外活動を継続していきたい。

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書



会場風景①
Scene①



会場風景②
Scene②



絵付け体験コーナー
Painting section



絵付け体験コーナー
Painting section



ろくろ体験コーナー
Potter's section



取材風景
Interview